

巻 頭 の こ と ば

令和５年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

令和５年５月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、３年間続いたコロナ禍がようやく収束に向かい、全日本トライアスロン皆生大会の４年ぶりのフルコースでの開催や米子ソウル国際定期便の運航再開など、街に賑わいが戻りつつある中、社会活動や地域経済を再構築していくために、様々な施策に取り組んでまいりました。

その中でも、米子に集う人々が「歩いて楽しい」を実感できる街の実現のため、市民、企業、行政が連携した「歩いて楽しいまちづくり」を重点的に取り組んでまいりました。特に、長年の念願であった米子駅南北自由通路等整備事業が完了し、がいなロードと駅南広場の供用開始にあわせて、官民一体となって開通記念イベントを開催し、多くの皆様と新たな米子の玄関口が誕生した喜びを分かち合うとともに、賑わい創出に向けた機運の醸成を図りました。

また、５０回の節目を迎えた米子がいな祭では記念イベントや史上最多の打ち上げとなる大花火大会を開催し、来場者数が過去最多を記録するなど、まち全体が再び活気付く契機となるとともに、皆生温泉エリアの魅力向上への取組として夜間の景観整備や地元組織と連携した誘客促進を図ったほか、整備が完了した米子インター西産業用地については、進出予定企業の早期の操業に向けて取り組んでいるところでございます。

さらに、道路・建築・住宅部局などの同じ分野の業務を行う鳥取県と本市の行政組織を配置する「鳥取県西部総合事務所３号館・米子市役所糺町庁舎」を整備するとともに、市役所本庁舎２階に鳥取県西部県税事務所を受け入れ、市と県の税務部門が同じフロアで業務を開始し、コスト削減を図りながら、県民・市民の利便性の向上や地域課題の解決に向けた県・市連携体制をさらに強化しました。また、県と共同で整備を進めている「米子アリーナ」については、施設の整備と運営を行う民間事業者を決定し、新施設の設計と旧施設の解体工事を進めているところでございます。

今後も、「住んで楽しいまち よなご」の実現に向けた取組の成果が実感できるよう、引き続き力強く施策を前に進めるとともに、鳥取県西部圏域はもとより、中海・宍道湖・大山圏域の一体感の醸成と連携の強化に努めながら、産業や観光などの振興策に取り組み、圏域全体の発展を目指してまいります。

市議会議員各位、並びに市民の皆さまのご意見とご協力をいただきながら、引き続き、市政運営にまい進する所存でございますので、どうか一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和６年８月

米子市長 伊 木 隆 司